

熱性けいれん（発作）・てんかん児の生活指導箋

保護者記入欄（医師にお渡しする前に記入してください。□はチェック☑してください）

氏名	□男・□女	年 月 日生（ ）才
園・校名		年 組

医師記入欄（□は必要に応じ複数チェック☑してください。複数発作型等は必要に応じ余白等に記入してください）

診断		年 月 日
	医療機関	
	主治医	印
発作症状	□全身けいれん（全身をがくがくさせる、つっぱらせる） □意識混濁（ぼーっとして意識が薄らぐ） □他（ ）	
持続時間	約（ ～ ）□秒・□分	発作頻度 約（ ～ ）回／□日・□週・□月・□（ ）年 最終発作 年 月 日
好発時間	□起きている時 □寝ている時 □他（ ）	
発作特徴	□転ぶ恐れあり □繰り返す（群発）恐れあり □止まらない（重積）恐れあり □他（ ）	
発作誘因	□なし □発熱 □過呼吸 □光・点滅 □他（ ）	
備考		

運動への配慮の必要性（配慮の必要性の程度は発作の状況により大きく異なる）

配慮の必要性が低いもの（横になる、座る等）

□通常 □特に目の届く範囲 □手の届く範囲 □1対1 □見学 □他（ ）

備考

配慮の必要性が普通のもの（立つ、歩く、ゆっくり走る、低く跳ぶ等）

□通常 □特に目の届く範囲 □手の届く範囲 □1対1 □見学 □他（ ）

備考

配慮の必要性が高いもの（速く走る、高く跳ぶ等）

□通常 □特に目の届く範囲 □手の届く範囲 □1対1 □見学 □他（ ）

備考

配慮の必要性が非常に高いもの（登る、乗る、組み合う、泳ぐ〔水泳は次項目を参照〕等）

□通常 □特に目の届く範囲 □手の届く範囲 □1対1 □見学 □他（ ）

備考

水泳・入浴への配慮の必要性

□通常 □特に目の届く範囲 □手の届く範囲 □1対1 □見学 □他（ ）

備考

その他注意すること等

・本指導箋は、心疾患・腎疾患用の『学校生活管理指導表』に代わり、熱性けいれん（発作）・てんかん児として、『てんかん児の生活指導表』（長尾ら、日児誌1996;100:766-773.）に基づき作成した

・必要に応じ、てんかん児の生活指導表、けいれん、意識混濁時のフローチャート、主治医意見書、与薬指示書等を参照のこと